



通知表(あゆみ)の見方

令和4年度9月

これまで通知表の教科の評価は4観点でしたが、令和2年度より下の表のように、新しい時代に必要となる資質・能力を全教科3観点に整理しています。また、通知表の配付は前期と後期の2回としています。前期9月30日、後期3月24日(6年生は3月22日)に配付します。

【通知表における3つの観点】

- ① 「知識・技能」
- ② 「思考力・判断力・表現力等」
- ③ 「学びに向かう力・人間性等」

① 生きて働く「知識・技能」

- ・ 事実的な知識だけでなく、それらが相互に関連付けられ、さらに社会の中で生きて働く知識が含まれます。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」

- ・ 物事の中から問題を見出し、解決の方向性を見通し、計画を立て、結果を予測しながら取り組み、振り返り、そして、新たな問題発見を見出し、解決していく探究する力が含まれます。
- ・ 情報を基に自分の考えを持ち、仲間同士で適切に伝え合い、多様な考えを理解し、集団としての考えを形成する力が含まれます。

③ 学びや人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

- ・ 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素で、協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどが含まれます。

1 「学習のようす」について

(1) 各観点の評価は、以下の基準に従って3段階で表します。

- ◎ (たいへんよい)・・・目標を十分達成できている。
- (よい)・・・目標をおおむね達成できている。
- △ (もう少し)・・・努力が必要である。

(2) 各教科の評定は、以下の基準に従って3段階で表します。(3～6年生)

- 3・・・目標を十分達成できている。
- 2・・・目標をおおむね達成している。
- 1・・・努力が必要である。

※ 1、2年生については、発達段階を考慮し、数値化した評定は行いません。

- (3) 評価・評定欄でお伝えできない事柄については、「所見」の欄に記述します。
- (4) 「道徳」「総合的な学習の時間(ひがし)」の学習の様子は後期に文章で記述します。
- (5) 「外国語活動」の学習の様子は、4年生は前期に3年生は後期に文章で記述します。
- (6) 不登校等で、未履修が50%以上の児童の評価・評定は、「/ (斜線)」とします。

2 「行動のようす」について

- (1) 行動のようすについては、学習のようすと同様に3段階で評価します。
- (2) 評価欄でお伝えできない事柄は、所見の欄に記述します。

3 その他

- (1) 令和3年度より、宮崎県・新校務支援システムで通知表を作成しています。
- (2) 「出欠のようす」は、前期・後期の出欠の状況を記録しています。
- (3) 「身体のようす」は、学年初めに行った身体計測の結果を記録しています。
- (4) 視力検査の基準はA→1.0以上、B→0.9～0.7、C→0.6～0.3、D→0.2以下、()内は矯正視力です。
- (5) 通知表のファイルは前期・後期1年間を通して使用します。10月初旬に学級担任へ必ずお返しください。(令和3年度より保護者の捺印欄はありません。)

ご家庭で、通知表を見られる場合は、よその子どもさんや兄弟姉妹と比較して、「よかった、悪かった」というのではなく、子どものどこが成長したのかをぜひ見つけてください。まず「がんばったところはどこかな、この通知表で教えて。」とお子様に聞いてみてください。「前と比べると、〇〇と△△が伸びてきたね。」「次は、□□がもう少しだからがんばろうね。」と、子どもさんの次への目標や意欲につながるような見方や、はげましの言葉かけをお願いします。